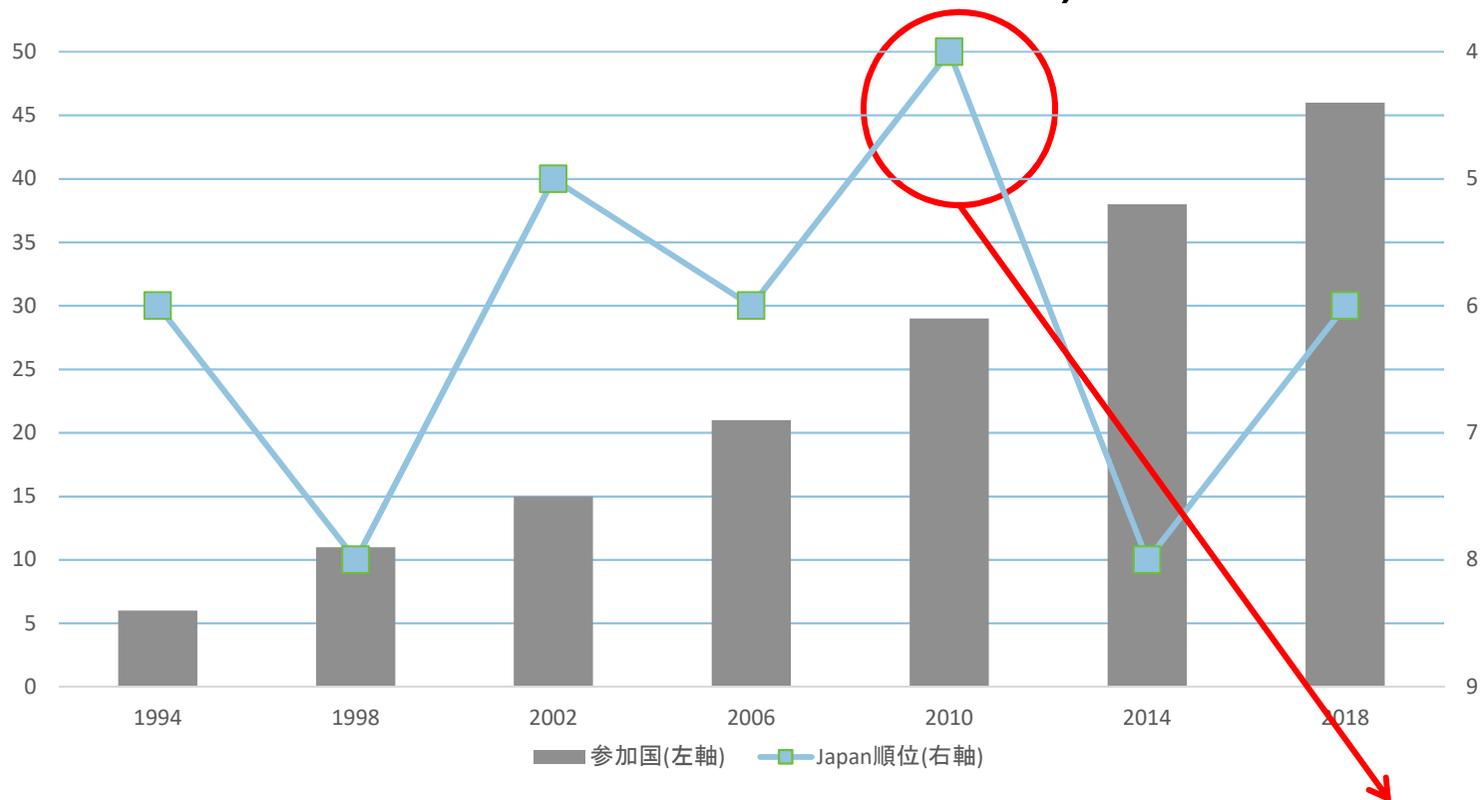


2017～2018年日本代表活動総括と 今後の取り組み

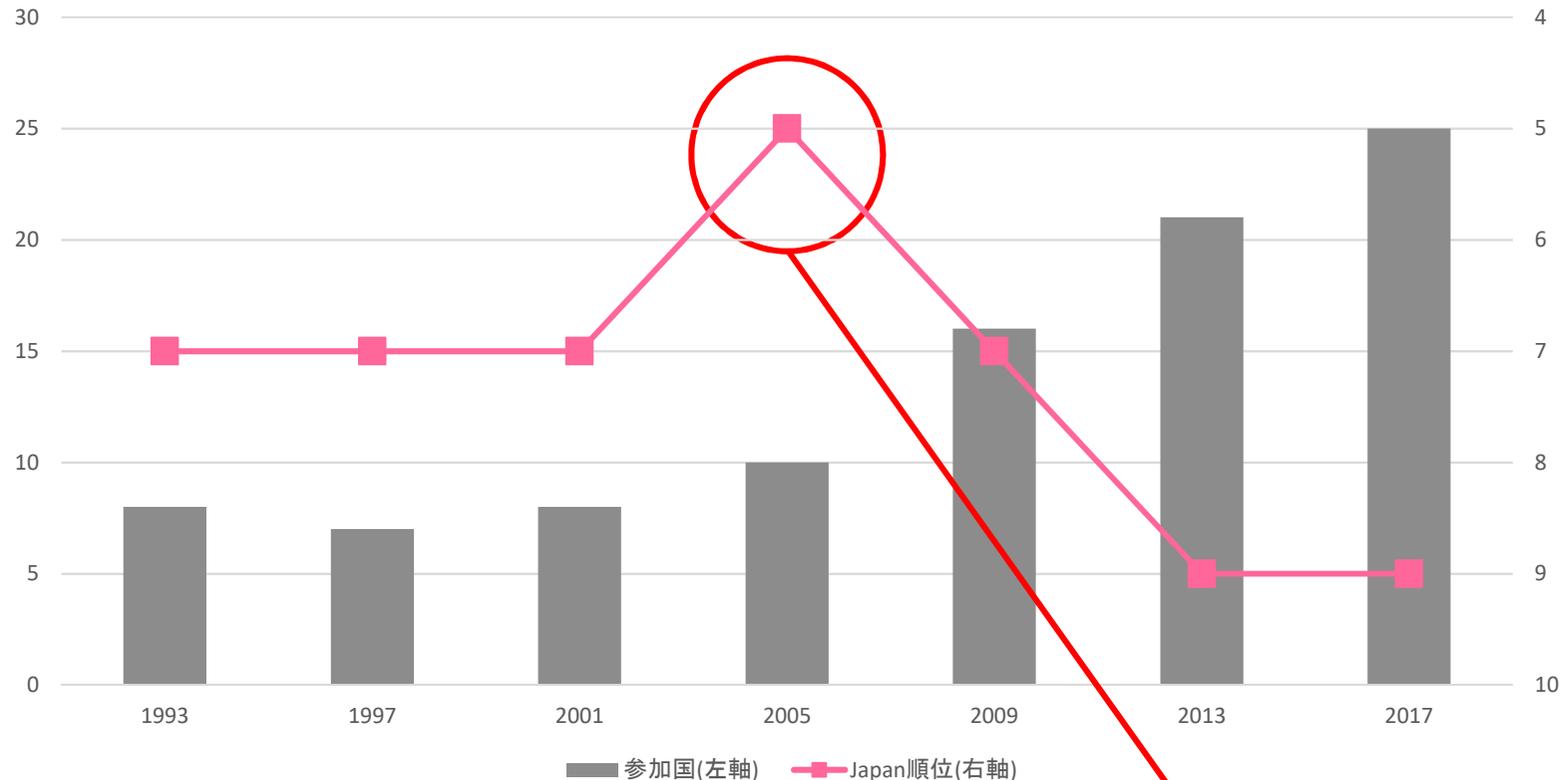
2018年11月24日
日本ラクロス協会
日本代表プロジェクト推進委員会(NPC)

世界大会実績(男子)



- 98年以降の日本独自の「早く速いラクロス」の追求 ⇒ **2010年4位**
- 一方で、日本らしいラクロスの限界も ⇒ 限界打破への挑戦
- NCAA、MLL充実に伴う、北米三ヶ国の実力向上
豪州、イングランド含めたTop5に次ぐグループの上位国の位置づけ
- NCAA経験選手ベースの国(プエルトリコ・比)も増える中、上位に食い込み、Top3を追いかけられる存在となり続けられるか

世界大会実績 (女子)

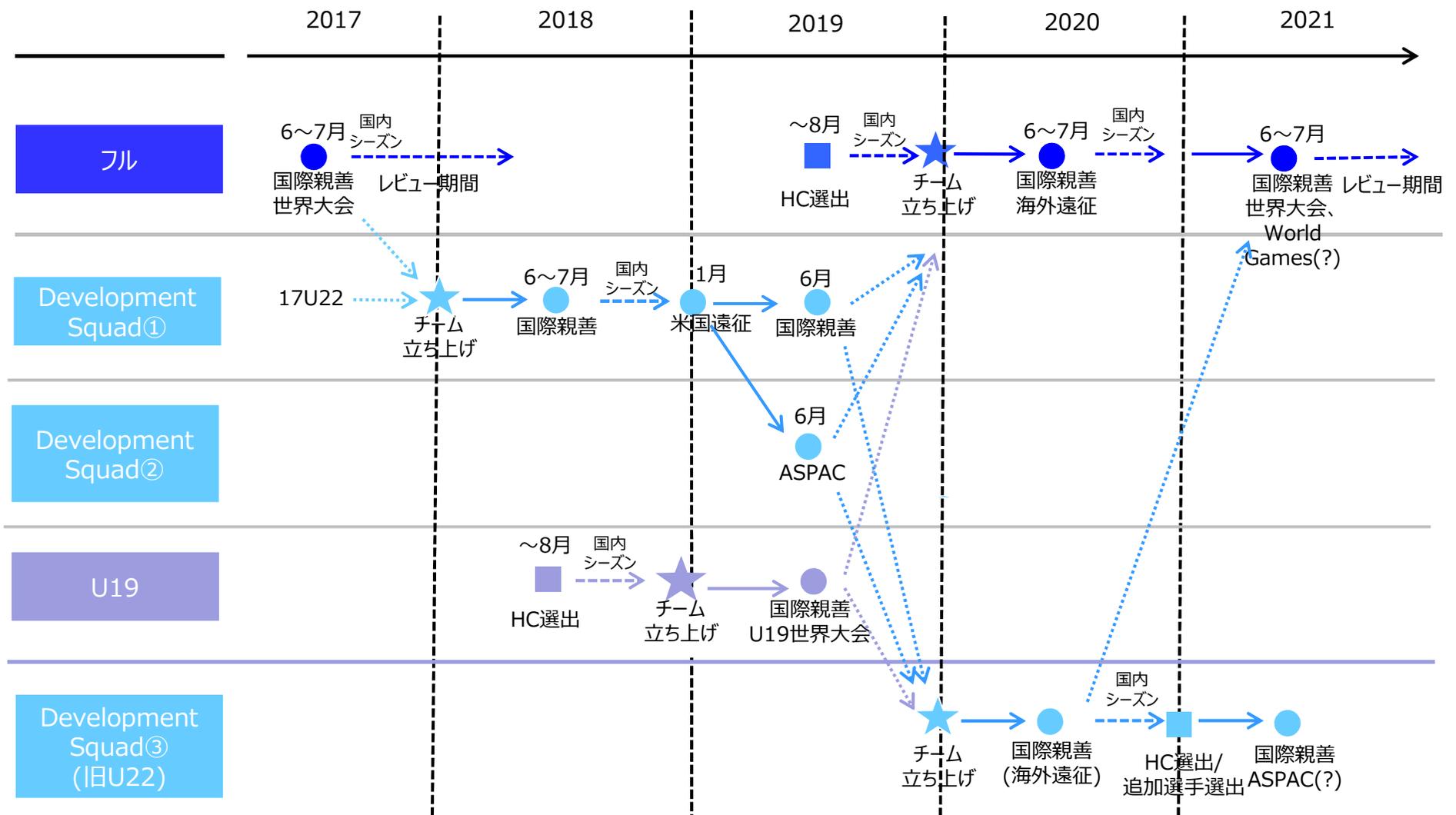


- 男子同様、「日本らしさ」を活かしたラクロスで、**2005年に5位に躍進**
- 限界打破を目指した2013年・2017年は、個の差を埋め切れず9位
- 北米2ヶ国とはやや差があるが、イングランドU23には18年国際親善試合で女子DSが勝利 ⇒ 3位～10位まで力の差が無い状況で、如何に個の部分で劣後せず、日本の強みを活かしてTop3入りを目指せるか

今後取り組むべき課題

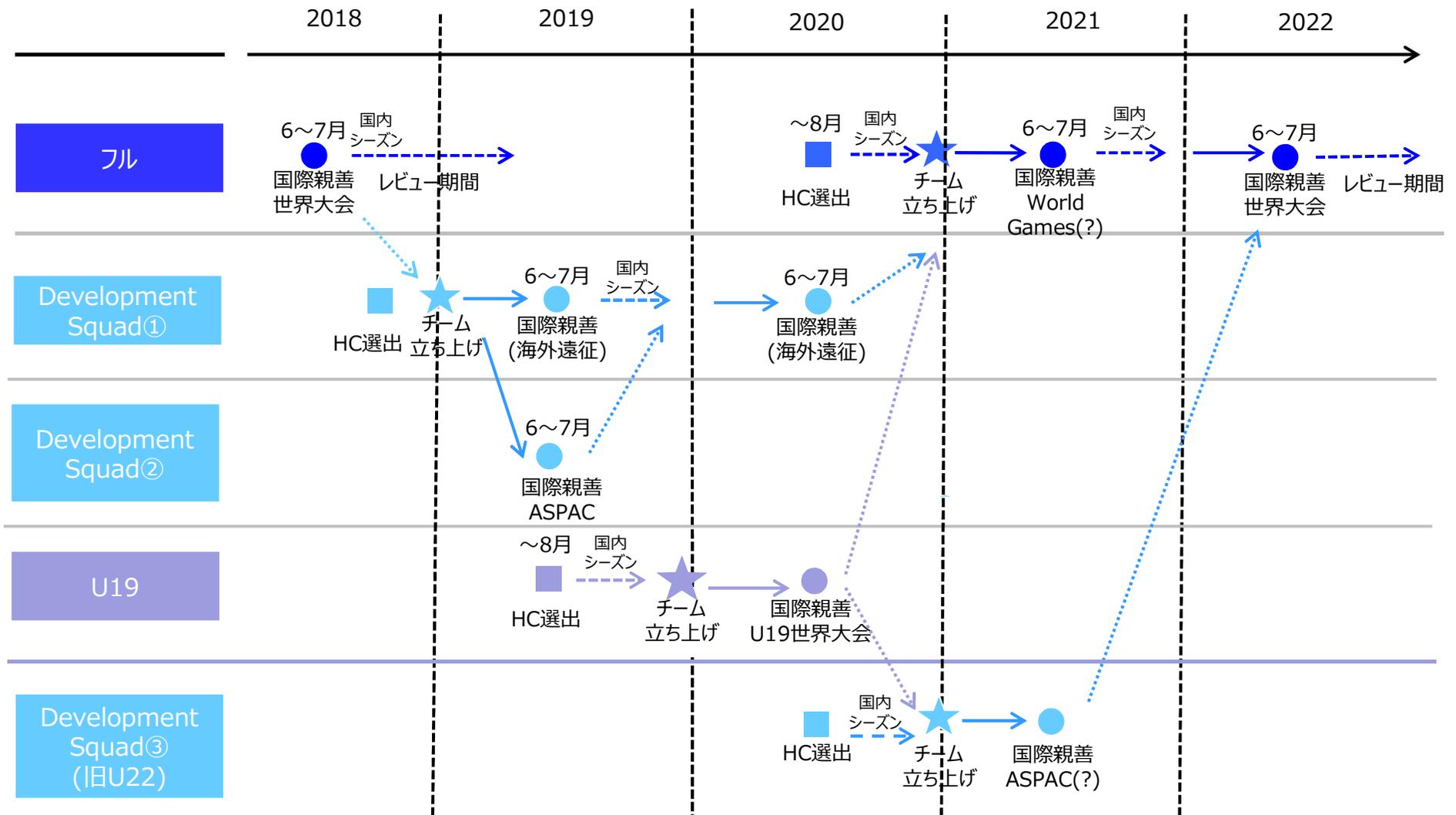
- 世界との差は何か
 - ⇒ ラクロスというボールゲームに対する理解力の差
- ラクロスとは
 - ⇒ 選択肢を奪い合うスポーツ
- 選択肢の奪い合いで優位に立つには、まず相手を見ること
その上で、世界標準のスキルセットを身に付けたい
 - ⇒ オフェンス
(スティックスキル、視野・駆け引き、身体の使い方)
 - ⇒ ディフェンス
(アジリティ、チェックスキル、視野・駆け引き)

女子日本代表 活動予定



- 2018年からDS活動開始 ⇒ 2020年以降の日本代表活動への予備活動 (50名程度のLarge Group) 2019年は、1月米国遠征、6月ASPAC参加を予定
- 2018年末からは、2019年世界大会へ向けたU19も活動開始

男子日本代表 活動予定



- 2020~21年は女子同様にDSにて強化活動を行う予定 (2019年ASPACもDSから選手派遣予定)
- 2020年末より、2021年世界大会に向けてU19を立ち上げ予定

2018年～2019年の当面の予定

- 女子 Development Squad (DS)
 - ⇒ 2019年1月27～29日をコアに米・西海岸へ遠征
(米代表、米U19、イングランド代表、米大学と対戦予定)
 - ⇒ 2019年6月ASPAC(@韓国・慶州)にも参加予定
 - ⇒ 2019年2月頃に、地区強化部から追加推薦受付予定
- 女子U19
 - ⇒ 以下にて選考会実施(各地区強化部から推薦受付)
 - +2018年12月1日西日本(東海・関西・中四国・九州)@関西
 - +2018年12月23日東日本(北海道・東北・関東)@関東
- 男子 Development Squad (DS)
 - ⇒ 2018年11月にヘッドコーチ公募予定
 - ⇒ 2019年2月頃に全国選考会実施予定(各地区強化部から推薦受付予定)
 - ⇒ 2019年6月ASPAC(@韓国・慶州)参加予定、
その他海外遠征を検討